

トヨタ、セプター セダンを新発売

—あわせて、セプター ステーションワゴンに2.2ℓ車を新設定—

トヨタ自動車(株)は、新型乗用車セプター セダンを11月2日より全国のトヨタカローラ店を通じて一斉に発売した。

セプター セダンは、広く機能的な室内空間と力強い静粛な走りを特徴とする3ナンバーボデーのFF高級ミディアムセダンである。エンジンは、新設計の低振動エンジン直4・2.2ℓ(5S-FE型)および、V6・3.0ℓ(3VZ-FE型)を設定している。

また、セプター ステーションワゴンは、直4・2.2ℓ(5S-FE型)エンジンの新設定など、一段とラインアップを充実させ、平成5年1月11日より全国のトヨタカローラ店ならびにトヨタビスタ店を通じて一斉に発売する。



セプター セダン 2.2 (E-SXV10-FEPGK) 〈オプション装着車〉

【車両の特徴】

1. セダン

(1) 高級感あふれる堂々としたスタイルの創出

フロントは特徴的な形状のヘッドランプ、空力を考慮したフロントバンパーなどにより精悍さを、また、リヤは二重レンズを採用した横一文字タイプのコンビネーションランプやボデーと一体感のある大型バンパーにより高級感を表現。

外板色は堂々としたスタイルにマッチしたダークグリーンマイカなど全5色を採用。

(2) ゆとりと機能性の追求

室内スペースはFF方式の3ナンバーボデーの採用により、室内幅1510mmに代表されるクラストップレベルの広さを達成。

また、全体を端正で機能的なデザインでまとめあげた室内空間には、コントロールパネルに液晶表示を採用したマイコンオートエアコンや、迫力あるサウンドが楽しめるセプター・スーパーライブサウンドシステムなどを採用。

また、トランクルームはVDA法で517ℓと、クラストップレベルの収納スペースを実現。

(3) 優れた静粛性とゆとりのある走りの実現

エンジンは、新開発の直列4気筒 2.2ℓ 5S-FE型（最高出力140PS/5800rpm、最大トルク19.5kg・m/4400rpm）と、高性能V型6気筒 3.0ℓ 3VZ-FE型（最高出力200PS/5800rpm、最大トルク28.0kg・m/4600rpm）の2機種を設定。

特に、5S-FE型エンジンは、新開発のバランスシャフト（*）の採用により、直列6気筒エンジンにも匹敵する低振動・低騒音を達成。

また、エンジンなど主要コンポーネントを井型サブフレームに取り付け、それをボデーに防振支持することにより高級車にふさわしい優れた静粛性を実現。

サスペンションは、高級車にふさわしいしなやかな乗り心地と優れた操縦性・走行安定性を実現するため、フロントにはマクファーソンストラット式を、リヤにはデュアルリンクストラット式を採用。

この他、3.0G、2.2Gには走行状態に応じてショックアブソーバーの減衰力を制御する上下G感応TEMSを標準装備。

(*)ピストンの上下動に伴う振動を相殺するために、クランクシャフトと連動し回転する2本のバランスウエイト付新設シャフト

(4) 安心を生む安全性の追求

安全については世界トップレベルの性能をめざし、予防安全、衝突安全の両面から徹底追求。

① 予防安全

滑りやすい路面での優れた緊急回避運動性能を確保する4輪ABSを全車に標準またはオプション設定した他、発進・加速・コーナリング時に駆動輪のスリップによる車両の偏向を防ぐTRC(トラクションコントロール)を一部グレードに標準またはオプション設定。

また、超音波雨滴除去装置付ドアミラー(3.0ℓ車に標準装備)やハイマウントストップランプ(全車に標準装備)を採用し、ドライバーの視認性、後方からの被視認性を向上。

② 衝突安全

ボデーの合理的な衝撃吸収構造^{サイフアス}C I A S (Crash Impact Absorbing Structure)をはじめサイドドアビーム(全車に標準装備)、運転席SRSエアバッグ(全車に標準またはオプション設定)、運転席シートベルト非装着警告灯(全車に標準装備)、リヤ3点式シートベルト(全車に標準装備)などを採用。

(5) 環境対策

省資源に対する取り組みとして、リサイクルしやすい熱可塑性素材を主体とした樹脂部品の採用や、生産工程内で発生する樹脂端材などのリサイクル活用、および樹脂材質識別のための記号表示を実施。

また、ブレーキパッドなどすべての部品をノンアスベストとした他、洗浄用・発泡用フロンを使わない製造法を採用。

2. ステーションワゴン

お客様の多様なご要望に応えるために、低振動・低騒音を特徴とする直列4気筒2.2ℓ5S-FE型エンジン搭載車を新設定するとともに、ベージュマイカメタリックの外板色を新たに採用。

